

令和4年第3回

幸手市教育審議会会議録

招 集 期 日	令和4年7月19日（火）午後1時30分					
開 会 場 所	幸手市役所本庁舎 3階 第1委員会室					
開会の日時・宣告者	令和4年7月19日（火）午後1時30分				森 祥一	
閉会の日時・宣告者	令和4年7月19日（火）午後3時30分				教育部長	
議 長	森 祥一（会長）			議長代理	小林 学（副会長）	
委員出席状況	議 席	氏 名	摘 要	議 席	氏 名	摘 要
	1	出井 保信	出席	1 1	細井 孝	出席
	2	稲垣 仁美	出席	1 2	松田 光男	出席
	3	井上 弘江	出席	1 3	松本 佑季子	出席
	4	大村 真樹	出席	1 4	眞中 千穂	出席
	5	小川 聖子	欠席	1 5	三柴 幸一	出席
	6	小曾根 昌雄	出席	1 6	宮田 充	欠席
	7	木村 麻子	出席	1 7	森 祥一	出席
	8	木村 則之	欠席	1 8	山下 治郎	出席
	9	小林 学	欠席	1 9	山本 太輔	欠席
	1 0	竹内 徳望	出席	2 0	渡邊 千穂	出席
議事参与者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教育部長	小林 秀樹				
	総務課長	服部 道春				
	学校教育課長	堀越 成夫				
書 記	大竹孝典・関口智章		傍 聴	0人		

会議事件名	顛末
<p>1 開 会 午後1時30分</p>	<p>森会長 開会を宣する。</p>
<p>2 前回会議録の承認</p>	<p>森会長 前回会議録の承認を求める。 《質疑》 委員 会議録に異議はないが、前回視察した小規模校である吉田小学校の様々な取組に対して、感想を述べたのが私だけだったので、他の委員の御意見も伺う機会を設けてはどうか。 森会長 本日の議事「(2)適正規模・適正配置について」で、意見交換の機会を設けることとする。 《承認》 全員異議なく承認。</p>
<p>3 会議録署名委員の指名</p>	<p>森会長 議席番号4番の大村委員と議席番号6番の小曾根委員に署名をお願いします。</p>
<p>4 議事 (1)アンケートの設問内容について</p>	<p>事務局 アンケートの設問内容について、資料により説明する。 《質疑》 森会長 設問9-2の中学生にとって望ましいと思う通学方法の選択肢が五つあるが、中学校では現在、徒歩と自転車の両方を実施しているので、「徒歩及び自転車」という選択肢を追加してはどうか。 また、設問12-1の小中一貫教育の必要性について、3段階の選択肢から回答するようになっているが、4段階にした方が回答を2分割できるのでよいかと思う。</p>

委員

設問 12-2 の小中一貫教育に期待する効果を、前の設問で「必要だと思わない」を選択した人にも回答を求めるのは変だと思うので、前の設問の選択肢を4段階にするのであれば、「必要だと思う」「どちらかというとな必要だと思う」を選択した人のみ回答するようにはどうか。

事務局

設問 12-1 の選択肢を4段階に変更するとともに、「必要だと思わない」「どちらかというとな必要だと思わない」を選択した人が、設問 12-2 で回答できるよう「特になし」の選択肢を追加したい。

委員

本日の会議でアンケート案を配布されても私は理解できないので、事前に自宅へ配布するなど目を通す時間を設けてほしかった。

それから、小・中学校の学級数の全国平均値を伺う。

事務局

事前に目を通していただく機会を設けたかったが、先進自治体の事例なども参考にしながら何度も手直しをかけて作成したもので、時間的な余裕がなかった。本日の会議をもって決定とはせず、後日、御意見等いただければ、反映できるものはしていきたいと考えている。

次に、小・中学校の学級数の全国平均値だが、手元に資料がないためお答えできない。

なお、アンケートで示している数字は、「国が示す望ましい学級数」を例示しているものである。

委員

設問 10 で幸手市の児童・生徒数の推移が示されているが、減少傾向にある原因は分析されているか。

また、前回も発言したが、人口減少に歯止めをかける努力はあったのか。

事務局

人口減少に歯止めをかけるための協議については、委員も構成員の一員である幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議で行われている。

教育審議会は、これからの子どもたちの教育環境をより良いものとしていくために協議を行う場であることを御理解いただきたい。

委員

この問題は、市全体としてトータル的に検討していかないと改善されないと思う。

委員

設問 11 と設問 12-2 の選択肢に「クラブ活動・部活動の活性化」とあるが、全国的に中学校の部活動を地域に移行する動きもあるなかで、この選択肢はいかがなものか。

事務局

部活動の地域移行については、指導員の確保や報酬の問題など、まだ全国的に方向性が定まっていない状況である。そのため、この設問は、現状での効果や必要性について伺うものである。

委員

部活動の先行きが見えないようであれば、選択肢に含める必要はないのではないか。

事務局

教育委員会の窓口には、中学校の部活動を理由に指定校変更を希望される家庭も多い状況である。そういった面からも、部活動のあり方は関心が高い項目だと考え、選択肢に含めている。

委員

幸手市立小・中学校適正規模・適正配置等に関する基本方針素案の作成に当たっての基本的な考え方の中で、「(4) 地域とともにある学校づくり」という項目があるが、この項目に係る選択肢は、設問 11 の「地域の人と繋がりがあがる」の一つしかない。

先日訪問した吉田小学校では、地域住民と運動会などを通じて交流を深めたり、古くなった農機具や手作りの品を学校に寄贈したりするなど、地域と密接な関係を保っており、大変素晴らしいと感じた。

地域とともにある学校づくりに係る設問を別途設けてはどうか。

それから、私は長倉地区の自主防災会連合会の会長を務めており、先日、閉園となった旧吉田幼稚園を訪問する機会があったが、子どもや職員がいなくなったこの施設が、防災拠点としての機能を果たせるのか心配になった。

防災拠点としての学校に係る設問を設けてはどうか。

事務局

地域とともにある学校づくりに係る設問を別途設けることは難しいことから、最後の自由記載欄で御意見等いただくことを想定している。

次に、学校が地域の防災拠点の中心的な役割も担っていることは委員のおっしゃるとおりだが、防災拠点としての学校に重点をおいてしまうと、教育審議会の論点から外れてしまうことから設問を設けていない。

今後、廃校となった学校の跡地利用を検討する際には、所管課である危機管理防災課や幸手市防災会議等で議論していくことになるかと思う。

委員

学校は子どもの教育の場とだけ捉える考え方は危険だと思う。もう少しトータルの捉えて、地域コミュニティの場であり、防災拠点でもある学校を、今後どのようにしていくことが良いのかと考える必要があると思う。

事務局

市としてはトータルの検討していく必要があるが、この教育審議会に求められているのは、まずは複式学級が増えつつある子どもたちの教育環境を今後、どのようにしていくことが良いのか検討することである。全く除外するわけではないが、まずはそこに重点をおいて御審議いただきたい。

委員

設問 11 の選択肢に「教育の変化に対応する建物となっている」「時代に合った教育が実践されている」とあるが、もう少し具体的な例が示されていると選択しやすいと思う。

委員

私も他の委員と同意見で、さらに「特色のある学校教育を行っている」も抽象的だと感じた。

また、設問 12-2 の選択肢にある「きめ細かな学習指導による学力向上」や「思いやりや支え合う心の育成」「いじめや不登校問題の解消」の3点は、設問 11 の「未来を担う子どもたちにとって必要だと思う教育」の選択肢にあってもよいかと思った。

設問 11 の選択肢をもう少し増やしていただきたい。

事務局

いただいた御意見をもとに検討したい。

委員

設問 3 で小学校区の図面が示されているが、中学校区も示されていると通学距離や通学方法の設問が回答しやすくなると思う。

次に、設問 10 の学校別の児童・生徒数の推移のグラフだが、各学校の年度別グラフを線で繋いだ方がより分かりやすくなると思う。

次に、設問 12-1 の説明に「中 1 ギャップ」という文言があるが、この文言の説明があった方が良いと思う。

また、小中一貫教育の学年段階の区切りだが、今は「6-3」という編成が一般的だと思うが、「5-4」や「4-3-2」といった様々な区切りもあるかと思う。小中一貫教育の検討に当たっては、この区切りについても併せて検討していただきたい。

事務局

設問 3 の図面に中学校区の枠組みを追加したい。

次に、設問 10 のグラフだが、線で繋ぐよう変更したい。

次に、設問 12-1 の「中 1 ギャップ」については、説明を追加したい。

また、小中一貫教育の学年段階の区切りだが、実際に導入するには校長との協議が必要になると考えている。

ちなみに、既に小中一貫教育を導入している近隣自治体では、「4-3-2」で編成し、小学校 5 年生から教科担任制としているところが多い状況である。しかし、地域や学校の実情にあったやり方が望ましいと考えている。

森会長

実際の枠組みは導入が決定してからだが、小中一貫教育の学年段階の区切りの例も示されていると、アンケートが回答しやすいと思う。

委員の皆さんから大変貴重な御意見をいただき感謝する。

なお先程、事務局から話があったように、学校が担う役割は様々あるが、本審議会では諮問事項に重点をおいて審議を進めていきたいと考えているので御理解・御協力をお願いする。

事務局

本日いただいた御意見等を反映したアンケート様式を委員の皆様にお届けして御確認いただき、最終的には事

事務局一任でお願いしたい。8月1日からの調査開始ということで時間的な制約があるが、御協力をお願いする。

委員

タイミングを逸してしまって申し訳ないが、4点お話ししたい。

1点目は、設問2-1の回答者区分の「学校運営委員会(教職員)」に該当する者は数名しかいないが、その理解でよろしいか。

2点目は、設問2-3で「特別支援学級に在籍する子どもは元学級で回答してください。」といった一文があった方は分かりやすいと思う。

3点目は、設問10の選択肢に「小規模校の再編」とあるが、小規模校の基準が示されていると分かりやすいと思う。

4点目は、設問13の説明に私立幼稚園や公立保育園などが何園あるか示されていると参考になるかと思う。

委員

アンケートの回答に要する時間が約10分程度と示されているが、もっと時間がかかるのではないかと思う。

事務局

回答に要する時間については、個人差があるかと思うが、もう少し時間を長めに設定したい。

委員の1点目の質問については、御指摘のとおりである。

次に2点目だが、選択肢に「特別支援学級」を追加したい。

委員

回答の途中で申し訳ないが、学校は明日が終業式で、それまでに保護者へアンケート実施のお願いの文書を渡し、8月1日からアンケートを実施するのは、時間的に厳しいと思うので、実施時期を遅らせることはできないのか。

それから、設問2-1から2-4で学年、クラス、出席番号の回答を求めているが、アンケート回答送信後に修正したい場合は、再度、初めから回答しなければならないのであれば、出席番号まで求める必要があるのか疑問に感じた。

次に、このアンケートは、どの程度の回答数を期待して

いるのか。また、この調査結果を今後の審議の参考とするのか、または方向性にプラス裏付けとしていくのか不明瞭な点がある。

極端なことを言えば、例えば設問4-1で1学級当たりの望ましいと思う児童数を選択するようになっているが、児童数を自治体の裁量で決定することはできないのに問う意図が不明瞭だと思う。

このアンケートの調査結果を教育審議会の参考資料とするのであれば、各委員が重点をおきたい項目をもう少し詰めていかないと、時間と労力をかけたのにただ実施しただけにとどまってしまい、残念だと思う。

スケジュールを遅らせることはできないのか。

委員

私も、質問内容を簡素化するか、教育審議会にとって必要な事項に絞った方が良くと思う。

事務局

設問4-1の設問の意図だが、現在、子どもが少人数学級に在籍している保護者でも、今のままの方が良いという方もいれば、もう少し多い人数の方が良いという保護者もいると思う。委員がおっしゃるとおり、児童数を自治体の裁量で決定することはできないが、現状の人数に対して回答者が望ましいと思う規模を問う設問と御理解いただきたい。

なお、アンケートの実施時期だが、委員の皆様からも少し再考する時間を設けた方がよいという御意見が多いようであれば、流動的に対応したい。

森会長

皆さんの意見を総括すると、やはり8月1日からの実施は厳しいと思う。

前回の会議で、調査期間の承認はしているが、皆さんからこれだけの御意見をいただいているので、実施時期をずらす方向で検討いただきたい。

《承認》

本日の御意見等を踏まえて修正した案を事前に各委員へ配布し、次回の会議で審議することで承認。

(2) 適正規模・適正

森会長

## 配置について

市内小・中学校の今後の在り方の検討に当たり、全体をとおして御意見・御要望等があれば発言いただきたい。

また、前回視察した吉田小学校の様子を踏まえた御意見等あれば、発言いただきたい。

### 《質疑》

#### 委員

吉田小学校長のお話を伺って、市内の学校間で学校規模や児童数、教育環境にこれだけの差があることにショックを受けた。

また、給食についても、小規模校は他校とは違う努力や対応をされているので、保護者の中には疑問に思われている方もいるのではないかと思った。

子どもたちの将来を第一に考えての会議だと思うので、皆さんと一緒に前向きに検討していきたい。

#### 委員

吉田小学校は少人数学級であるため、様々な意見を交換する環境がないと校長がお話されていたが、今はインターネット環境が普及してきているので、インターネットを使って他校と意見交換することで、その辺の問題を少しは解消できるのではないかと感じた。

#### 委員

適正規模・適正配置については、各々の考え方があるので、もう少し勉強しなければならないと考えている。

なお、日本の教育のあり方はどんどん変化していくので、それに対応できるような考え方も必要だと思う。

#### 委員

子どもの人数が減ると教員の人数も減るので、小規模校では他校と同じように実施することが難しい部分もあるかと思う。

しかし一方で、地域の方々のサポートが非常に手厚く、同じ校区の校長からも、地域の方々が一緒に授業に取り組んでいただいたり、子どもと一緒に何かを作っていたりしているという話を聞くことがあるので、学校のあり方について悩ましいと考えている。

#### 森会長

地域の方々のサポートというのは、小規模校に限らない話で、これが公立学校の良さだと実感している。

ただ、子どもの人数が減れば教員の人数も減るので、東

中学校の実情をお話しただけるとありがたい。

委員

本校は、校長、教頭と事務職員等を含めた県費負担教職員が15人程度いるが、教員数が足りないため、非常勤講師を充てることで全ての教科に教員を配置している状況である。

また、様々な事務分掌についても、教員数が少ないことで一人当たりの教員の事務負担が大きくなるとともに、各種学校行事についても小規模校だから実施しないというわけにはいかないのが、縦割りで実施するなど工夫を凝らして実施している状況である。

しかし、小規模校は小規模校に合った取組を実施しており、学校規模でよし悪しを判断することは難しく、最終的には保護者や地域の方の気持ちを満たしているかどうか重要だと考えている。

委員

さかえ小学校も小規模校だが、長年、地域に在住されている家庭も少ない地域なので、地域と学校の繋がりや学校行事等への参加率も非常に低いと感じている。

教育については学校に依存するかと思うが、地域の特性については、そこに根付いている方々の考え方に左右されると思う。

次に校区についてだが、さかえ小学校は大変限られた地域で、道路1本隔てると学校の正門前の家であっても違う校区となっている。そのため、安全面や規模で考えると、校区に関して疑問に感じている方が多いと思う。

小規模校でも条件が異なる実態があるということを加味して御審議いただけるとありがたい。

委員

事務局にお願いだが、幸手市より小規模校が多い地域で上手く解決したような事例、それから小中一貫校を設置して成功した事例を次回、資料として示していただけるとありがたい。

また、小中一貫教育の必要性について問う設問があるが、様々な憶測がある中の一つに、八代小学校、吉田小学校、権現堂川小学校を統合して新しい小学校とし、東中学校と併せて小中一貫校にするという話も出ている。

これから審議していくことになるかと思うが、東中学

<p>5 その他  (1) 次回審議会日程</p>	<p>校を幸手中学校に統合して、その跡地に3校ないし4校を統合した小学校を建てるので、それについて検討してくださいと言われれば真剣に考えるが、小出しの質問では委員として方向性が分からない。</p> <p>事務局</p> <p>御要望いただいた資料については、後日、御用意したい。</p> <p>次に、学校の統廃合の枠組みだが、先程の意見交換でも、自分の地域の実情は分かっているが、他の地域の実情は分からない面があったかと思う。</p> <p>まずは、このアンケートの調査結果を通じて市全体の実情を理解していただき、結果を踏まえた議論の中で、教育審議会としてのある程度の方向性や枠組みが作成できればと考えている。</p> <p>それから前回、委員から御要望をいただいた、学校の統廃合に係る幸手市議会での一般質問について、令和2年までの報告をしたい。</p> <p>まず直近の令和4年6月議会で、枝久保議員から小中一貫校への移行について質問があり、教育審議会に小中一貫校も含めた学校のあり方を御審議いただいていると答弁している。</p> <p>また、小河原議員から小・中学校の適正規模・適正配置の早期実現ということ、議員の御出身である東地区の小規模校の早期解消についての質問があり、同じく教育審議会に御審議をいただいていると答弁している。</p> <p>遡って令和4年3月、令和3年12月、令和2年12月に海老沼議員から市長に対して、公約にあった幼児教育についての質問があり、こちらについても教育審議会に審議をお願いしていると答弁している。</p> <p>さらに遡って令和2年9月、令和2年3月に枝久保議員から小中一貫校の早期実現についてお話をいただいたところである。</p> <p>事務局</p> <p>次回の審議会の日程について説明する。</p>
-------------------------------	---

<p>6 閉 会 午後 3 時 30 分</p>	<p>日時 令和 4 年 9 月 27 日 (火) 午後 1 時 30 分 場所 市役所本庁舎 3 階 第 1 委員会室</p> <p>教育部長 閉会を宣す。</p>
------------------------------	---

<p>他特に重要 と認める事項</p>	<p>なし</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和 4年 8月 29日</p> <p>署名</p> <p style="margin-left: 40px;">       審議会会長            森     祥 一        審議会委員           木 村 麻 子        審議会委員           竹 内 徳 望        事務局職員           大 竹 孝 典     </p>